平成２９年度第１回南丹市社会教育委員会　会議録

日時　平成２９年５月２５日（木）午後１時３０分～午後３時１０分

場所　南丹市園部公民館　大研修室

会議出席者（順不同、敬称略）

社会教育委員　麻田健治、大嶋久美子、岡島賢峰、北村友子、小南　仁、

清水範子、冨田陽子、中野愛子、片山敏哉、三觜宏孝

　市教育委員会　森教育長、山内教育次長、寺田社会教育課長、浅田課長補佐、

辻課長補佐、森社会教育主事、大塚係長

　傍聴人数　０名

１．開会　　司会（事務局）

２．あいさつ　森 教育長

本日はご多用の中、第１回の社会教育委員会議にご出席いただき、厚くお礼申しあげる。耐震にかかわる公民館の方向性について答申を出していただいた。それをもとに市総合教育会議にて方向性を見出すことができた。昨年度何度もご協議いただきご尽力賜り、厚くお礼申しあげたい。今年度としては、園部公民館は耐震設計計画と八木公民館は支所への機能移転に係る実施設計を行う予定となっている。次代を見て本市の社会教育の発展に欠かせない拠点としての公民館であるため、新たな第１歩としていきたい。また総合振興計画策定に係るヒアリングが行われている。今後社会教育の分野もあるので、社会教育委員さんのご意見も聞かせていただくことになる。また社会体育の分野について、スポーツ基本法では基本計画策定が義務付けされている。地方公共団体は地域の実情に合わせての計画策定が努力目標となっている。これについても社会教育委員みなさんのご意見が必要となってくる。策定に係る検討部会についてもご協議いただければ大変ありがたい。いろいろあるが、スポーツ振興・文化振興によるまちづくりのため、今後ともお世話になりたい。

あいさつ　中野代表

新たな課題もある中、今年度はこれまでできなかった委員として本市の社会教育の本質に係ることについて話し合いをしたいと考えている。

今年度の新たな社会教育委員２名の紹介。欠席委員の報告。また、事務局についても４月１日付で人事異動があった職員の紹介。

３．報告事項

（１）平成２８年度事業報告について

平成２８年度の南丹市社会教育委員の活動について報告。

（２）園部・八木公民館改修に係る経過について

昨年度８回目の委員会の審議の中で提出いただいた答申書を受け、教育委員会を経て、総合教育会議によって一定の方向性がとりまとめられた。八木公民館は八木支所３階への機能集約の方向で進めていくこととしている。また、園部公民館は耐震補強計画を作成し実施設計経費を当初予算で認めていただいた。今後は、いずれも平成３２年を目途に事業を進めていくことができればと考えている。

主な質疑・意見

○増設される廊下の幅はどれくらいか。

→道具や楽器など一定通れる程度の幅は確保したい。

○園部公民館の改修工事中は利用不可となるだろうが、期間はどれくらいか。

　→工期は平成３２年から３３年までと見込んでいる。その間の利用に係る調整も必要と考えている。

○改修後の段差やバリアフリーはどうなるか。

　→設備の詳細は今後決めていくが、本会での協議内容をできる限り生かしていきたい。

（３）南丹市指定文化財追加指定について

南丹市指定文化財について「小出文庫」が追加指定された。小出文庫は、園部藩主の小出氏の蔵書や藩校で使われていたとされる典籍群。現在は教育委員会が所蔵している。和書３１８件で漢籍が１１４件。また「植物」については、園部町南陽寺のカヤ、摩気神社の口の天狗杉、天引八幡神社のムクノキが追加された。

主な質疑・意見

○今回の追加指定について、今後の活用については。

→文化財保護審議会で検討され指定された。植物について現地の説明ツアーを行うなど文化財を市民のニーズに応じた生涯学習の題材に利用したいと考えている。

４．協議事項

（１）平成２９年度事業計画について

　事業計画により説明。現在、決定し準備している事業について詳細に説明。

主な質疑・意見

○地域社会との連携について、社会教育委員として何かできればと考えている。

○社会教育事業はもとより、地域連携に関する情報交流の場を持つのもよいのではないか。

○今年度の児童クラブの状況はどうか。

→今年度は４月から５年生まで拡大して受け入れており、児童の申込者数は３５０人余りとなっている。申込みの中には夏季休暇だけの児童も含まれているので常はこれより少ない状況ではある。来年度は６年生まで拡大する予定。

５．その他

スポーツ推進計画の策定について

２０２０年の五輪開催に向けてスポーツ基本計画が国により策定されたことにより、２９年度からは５カ年計画のなかに４本柱で考えていくことになっている。併せて市スポーツ推進計画も改定時期となっているので、教育振興プランの中に推進計画の検討がうたわれておりその取り組みを進めたい。進め方として、この社会教育委員会議については、社会教育に関わり建議いただくうえで専門分野でもあるので、専門部会を作って審議いただいたものを、社会教育委員の皆さんにご審議いただきたいと考えている。推進計画について本委員会で審議いただくことと、専門部会を設置することについてご審議いただきたい。

専門部会については、体育協会から選出されている麻田委員に入っていただきたい。また子どもの体力作りなど学校教育に関連があるので、片山委員と上垣委員にも関わっていただきたいと考えている。

○事務局のご提案について異議あるか。　　　異議なし。

６．閉会　清水副代表

あいさつにより閉会